

令和元年度 授業改善推進プラン

調布中学校

教科 英語	重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の充実 ・コミュニケーション力の育成 																					
学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)		改善策と検証																				
<p>1年</p> <table border="1"> <caption>1年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C 努力を要する</th> <th>B おおむね満足</th> <th>A 十分満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>4</td> <td>59</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>10</td> <td>79</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>2</td> <td>53</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>22</td> <td>49</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>		項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足	関心意欲	4	59	123	表現の能力	10	79	94	理解の能力	2	53	110	知識理解	22	49	113	<p>改善策 音声によるアクティビティの後必ず、文字でその結果をまとめることや、基本文を暗記した後、語彙を置き換えてパターンプラクティスを行うなど、自分の力で英文をつくれるようにするためのスモールステップを多く用意する。</p> <p>検証 1 年間の学習の最後に「英文日記」に挑戦させている。Be 動詞・一般動詞両方の文の特徴を充分につかみ、自己表現をする取り組みで、生徒はたいへん意欲的にヒントを活用しながら取り組むことができている。これまでの指導が、少しずつ形になっていると考える。</p>
項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足																			
関心意欲	4	59	123																			
表現の能力	10	79	94																			
理解の能力	2	53	110																			
知識理解	22	49	113																			
<p>課題 観点 2 の表現に於いて特に、音声よりも文字で「書く」事を苦手とする生徒が多いことが課題となる。音声の発話も、そもそも英文を組み立てることができてこそなので、英作文の力を伸ばすことが必要である。</p>																						
<p>2年</p> <table border="1"> <caption>2年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C 努力を要する</th> <th>B おおむね満足</th> <th>A 十分満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>4</td> <td>57</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>10</td> <td>80</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>2</td> <td>70</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>22</td> <td>49</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>		項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足	関心意欲	4	57	105	表現の能力	10	80	93	理解の能力	2	70	111	知識理解	22	49	113	<p>改善策 必ず音声によるアクティビティの後、文字で結果をまとめることや、基本文の暗記の後、語彙を置き換えてパターンプラクティスをするなど、自分で文を作れるようにする為のスモールステップを用意する。</p> <p>検証 昨年度に比べ、自分の持っている知識を使って英語で表現しようとする力はついた。知識理解の能力を伸ばすことで、表現力の幅がさらに広がると期待できるので、来年度の指導に生かす。</p>
項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足																			
関心意欲	4	57	105																			
表現の能力	10	80	93																			
理解の能力	2	70	111																			
知識理解	22	49	113																			
<p>課題 知識理解の項目で、努力を要する生徒が他の項目に比べて多い。今後は単語や熟語に触れる機会を増やし、単語や熟語、文法の小テストを継続的に行うことで伸ばして行く。</p>																						
<p>3年</p> <table border="1"> <caption>3年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C 努力を要する</th> <th>B おおむね満足</th> <th>A 十分満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>31</td> <td>69</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>44</td> <td>74</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>54</td> <td>28</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>		項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足	関心意欲	31	69	74	表現の能力	44	74	61	理解の能力	52	51	46	知識理解	54	28	78	<p>改善策 引き続き速読力を高めるトレーニングを続けていくと共に、徐々に語彙数を増やしていき、長文に慣れる練習も行う。また、教科書の長文を活用して、音読をくり返し行うことで、読む力を養っていく。</p> <p>検証 1 年を通して、速読力を高める活動を行った。読むスピードも上がり、長文を読むことに慣れた。音読等通して、単語の読み方、意味を推測する力がついた。</p>
項目	C 努力を要する	B おおむね満足	A 十分満足																			
関心意欲	31	69	74																			
表現の能力	44	74	61																			
理解の能力	52	51	46																			
知識理解	54	28	78																			
<p>課題 理解の能力において、十分満足とする達成が他と比べて低い。長文を読む力が弱い生徒が多いと見られる。</p>																						